

タクシー運転手の現状と タクシーに関する事故データ

2023年11月13日（月）

川邊健太郎

サマリー

運転手の現状

- ・2010年から12年間で**運転手は約40%、14万9000人減**
- ・タクシー運転手の**有効求人倍率は全産業平均の3.2倍にあたる、“4.13倍”と極めて高い**
- ・タクシー運転手は**高齢化が進み、年齢構成比で70歳-74歳が最大ボリュームゾーン**

※令和4年：申請による運転免許の取消（自主返納）件数は、**70歳—74歳が最大ボリュームゾーン**

（出典：運転免許統計 令和4年版 警察庁交通局運転免許課）

事故データ

- ・交通事故率は**普通乗用車の1.5倍以上、トラックの約4倍、乗り合いバスの6.7倍**
- ・事故件数は**空車時が実車時の2.5倍**
- ・タクシーは**60歳以上の事故割合が圧倒的に多い**
- ・**重大事故を起こした運転手年齢と健康起因の事故年齢は65歳以上が圧倒的多数**
- ・法令違反別交通事故件数割合は「**安全不確認**」2,849件（約40%）が**圧倒的に多い**

タクシーは自家用車や他業態よりも事故が多く、それが「空車時」に多い結果から、所謂「流し」というタクシー特有の業務形態と事故の因果関係があるのではないか？

そうだとしたら、迎え先と行き先が予め決まっているライドシェアは流しのタクシーよりも事故が少なくなる可能性があるのではないか？

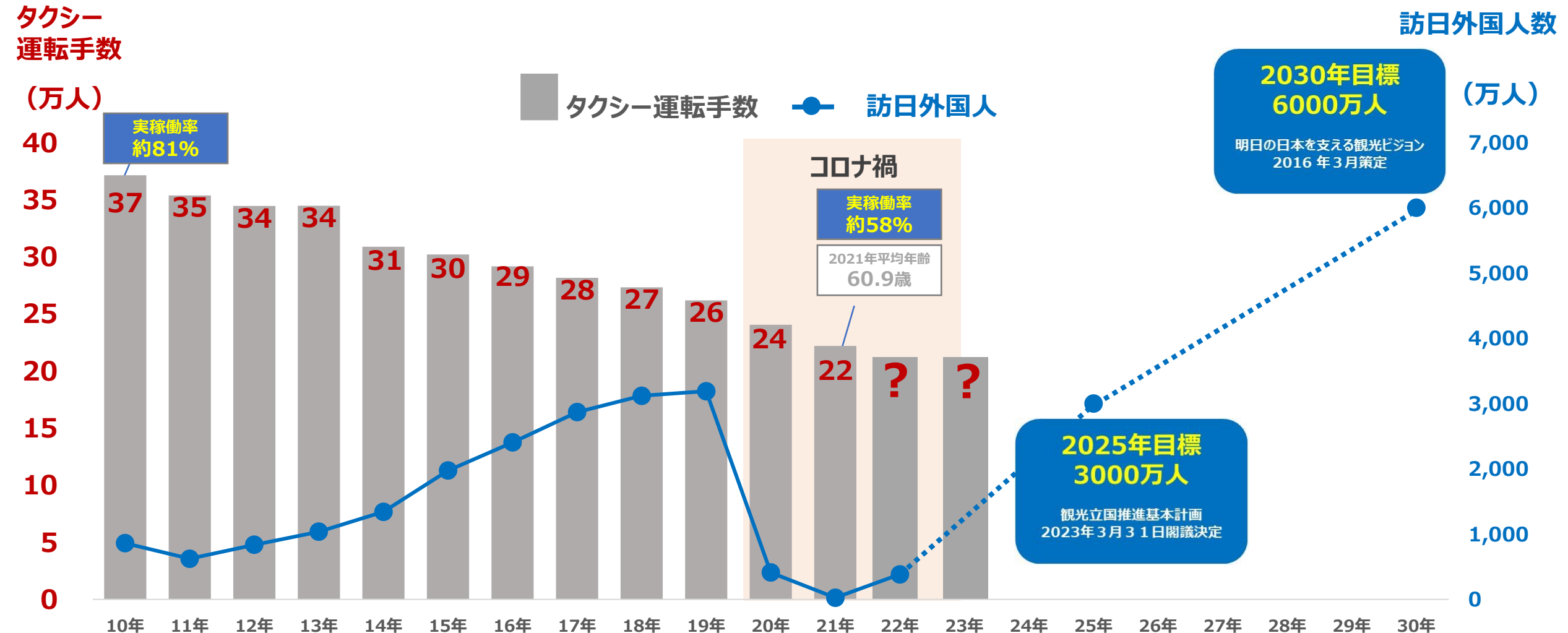
また、高齢運転手による事故が多い事と、運転手の高齢化が進んでいる事とその年齢分布から、移動交通に関わる運転手の高齢化対策が必要だと考えられる。

その対策としても、ライドシェア運転手は「副業、兼業」での働き方が多くなると考えられ、比較的年齢が若い運転手を確保する事が可能となり、移動交通に関わる運転手の平均年齢を下げる（＝事故低減）手段にもなり得るのではないか？

タクシー運転手の現状

タクシードライバーの減少

10～21年で **タクシー運転手は約40%減少、実働率も約20%減少**



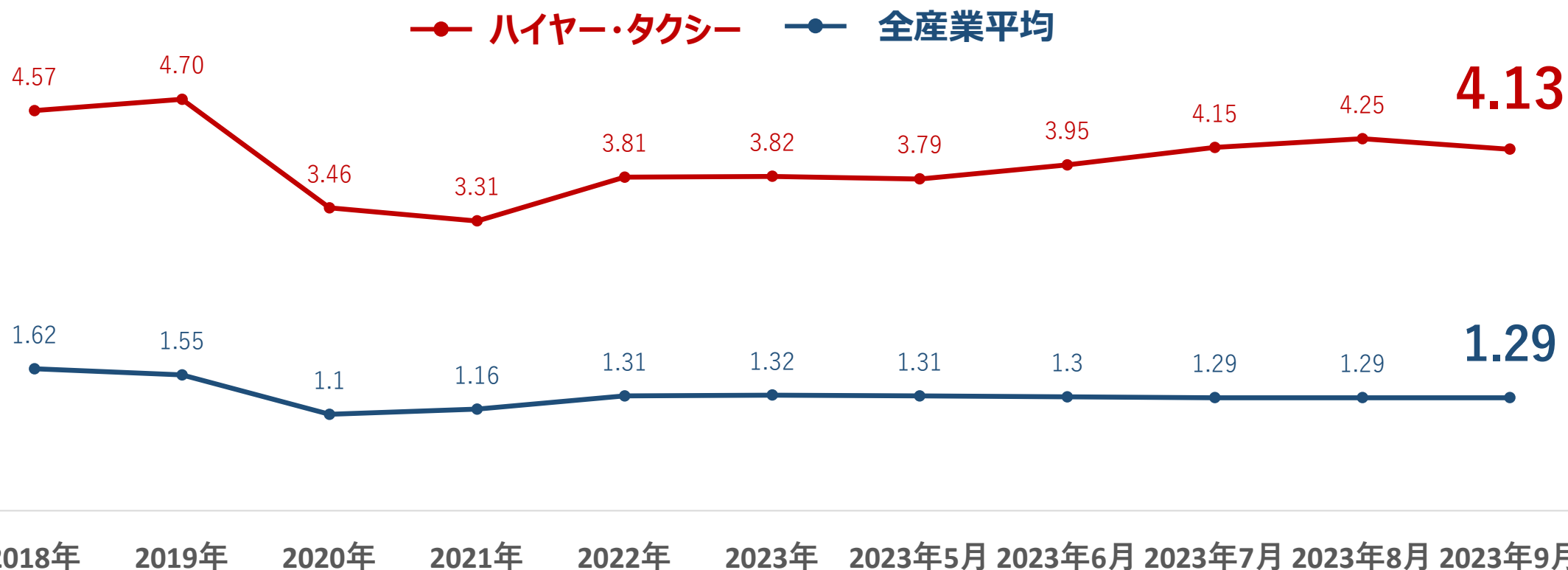
(西暦表記：20××年)

(出典/引用) 一般社団法人全国ハイヤー・タクシー連合会：「[Taxi Today in Japan 2023](#)」 P.15

ハイヤー・タクシー運転者の有効求人倍率

全産業平均の3.2倍の有効求人倍率
=採用が追い付いておらず、今後も人手不足は深刻

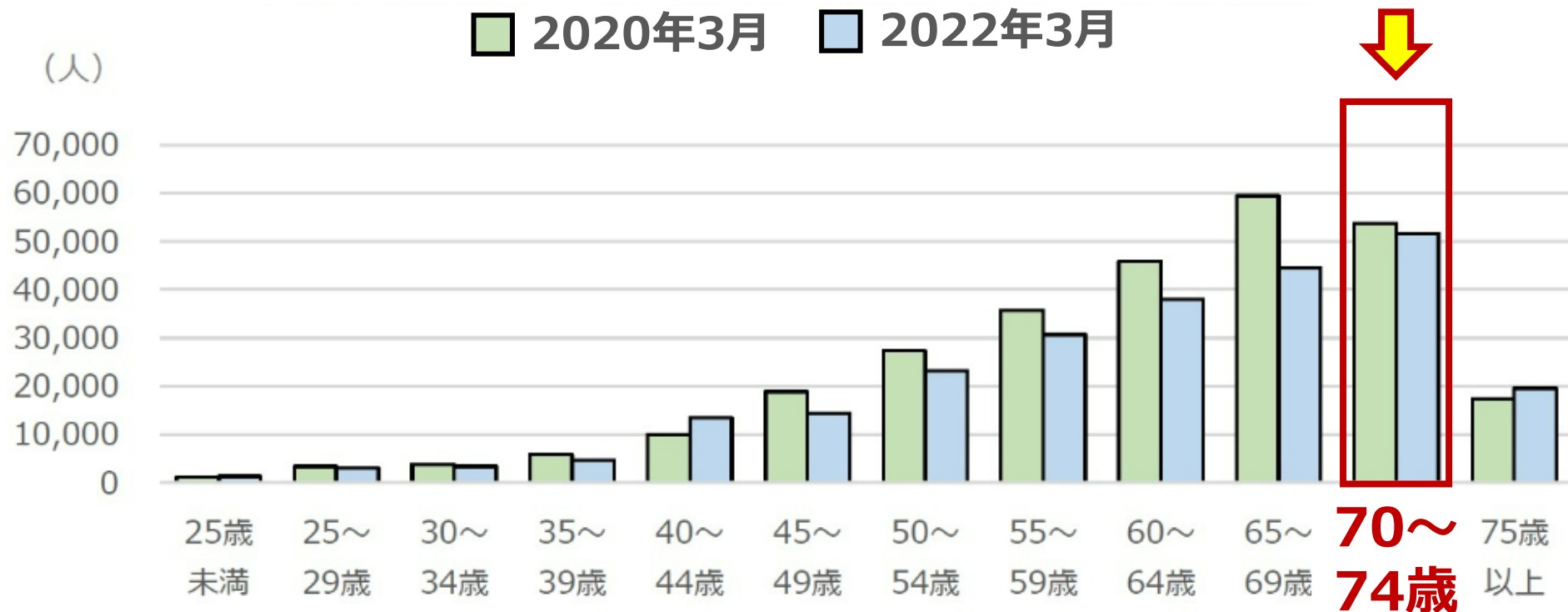
ハイヤー・タクシー運転者の有効求人倍率（年次）



タクシードライバーの高齢化

20年では65～69歳が最大ボリューム層であったが、
22年には70～74歳が最大ボリューム層に

2022年3月末時点 法人タクシーのドライバーの年齢分布



タクシードライバーの高齢化（エリア別）

エリア別でも傾向は同じく、**70～74歳が最大ボリューム層**である

		25歳未満	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上	合計
北海道・東北	人数	34	129	238	422	744	1,438	2,301	3,445	5,327	7,045	7,418	1,957	30,498
	構成比 (%)	0.1%	0.4%	0.8%	1.4%	2.4%	4.7%	7.5%	11.3%	17.5%	23.1%	24.3%	6.4%	100%
関東	人数	860	1,920	1,820	2,294	3,530	6,651	10,793	13,249	14,037	14,647	16,786	6,633	93,220
	構成比 (%)	0.9%	2.1%	2.0%	2.5%	3.8%	7.1%	11.6%	14.2%	15.1%	15.7%	18.0%	7.1%	100%
中部	人数	116	327	377	561	926	1,756	2,810	3,721	4,545	4,915	5,671	2,261	27,986
	構成比 (%)	0.4%	1.2%	1.3%	2.0%	3.3%	6.3%	10.0%	13.3%	16.2%	17.6%	20.3%	8.1%	100%
近畿	人数	164	398	455	705	1,026	2,098	3,507	4,792	5,684	6,251	8,266	3,731	37,077
	構成比 (%)	0.4%	1.1%	1.2%	1.9%	2.8%	5.7%	9.5%	12.9%	15.3%	16.9%	22.3%	10.1%	100%
中四国	人数	33	124	195	318	552	1,060	1,601	2,073	2,982	3,886	4,870	2,103	19,797
	構成比 (%)	0.2%	0.6%	1.0%	1.6%	2.8%	5.4%	8.1%	10.5%	15.1%	19.6%	24.6%	10.6%	100%
九州・沖縄	人数	66	178	248	435	687	1,369	2,204	3,357	5,377	7,694	8,672	2,862	33,149
	構成比 (%)	0.2%	0.5%	0.7%	1.3%	2.1%	4.1%	6.6%	10.1%	16.2%	23.2%	26.2%	8.6%	100%
全国	人数	1,273	3,076	3,333	4,735	13,475	14,372	23,216	30,637	37,952	44,438	51,683	19,547	241,727
	構成比 (%)	0.5%	1.3%	1.4%	2.0%	5.6%	5.9%	9.6%	12.7%	15.7%	18.4%	21.4%	8.1%	100%

（備考） 下段の表は2022年3月現在。

タクシーにおける交通事故に関する データ一覧

タクシーは普通乗用車、他業態よりも事故が多い 空車時が実車時よりも事故が多く、事故当時者の年齢が高い

タクシーの事故に関する要点

走行台キロ当たりの
交通事故率は
普通乗用車の
1.5倍以上

走行距離 1 億キロあたりの
交通事故件数は
トラックの約4倍
乗り合いバスの6.7倍

タクシーの走行距離 1 億キロあたりの
事故件数は
空車時が実車時の
2.5倍

業態別の交通事故第1当事者の
年齢分布において
タクシーは60歳以上の
事故割合が
圧倒的に多い

重大事故を起こした
運転手年齢と
健康起因の事故年齢は
65歳以上圧倒的多数

事故第1当事者運転手の
平均年齢が高く
平均62.7歳

事故類型別 交通事故件数
「他車との事故」が
5,334件と最多
約75%

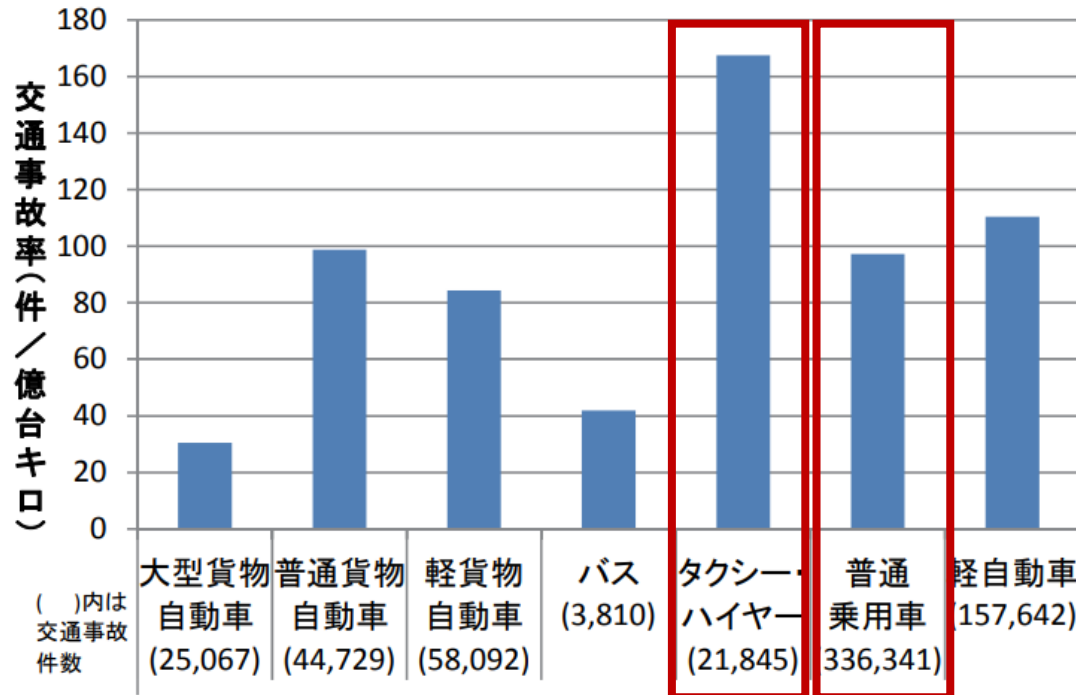
タクシーの法令違反別
交通事故件数の割合
圧倒的に「安全不確認」
2,849件が多い
(約40%)

普通乗用車とタクシーの事故率比較

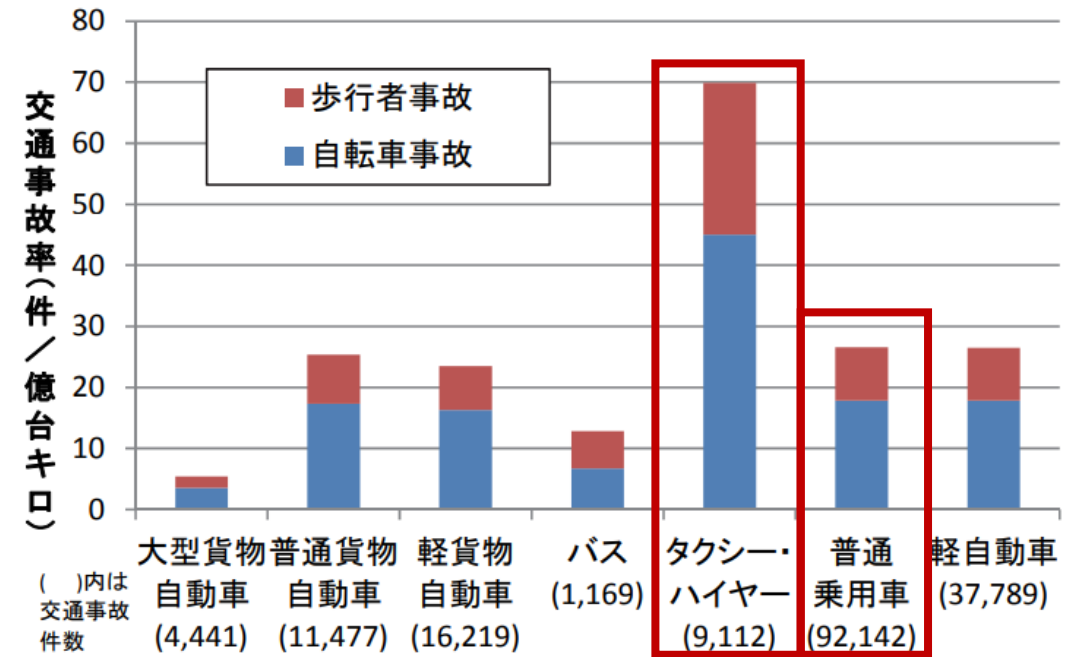
タクシー・ハイヤーの走行台キロ当たりの交通事故率は普通乗用車の1.5倍以上

歩行者事故、自転車事故の交通事故率は、普通乗用車の2倍以上

平成22年 交通事故の第一当事者の車種別走行台キロ当たりの交通事故率
(平成22年、二輪車・特殊者を除く自動車が第一当事者)

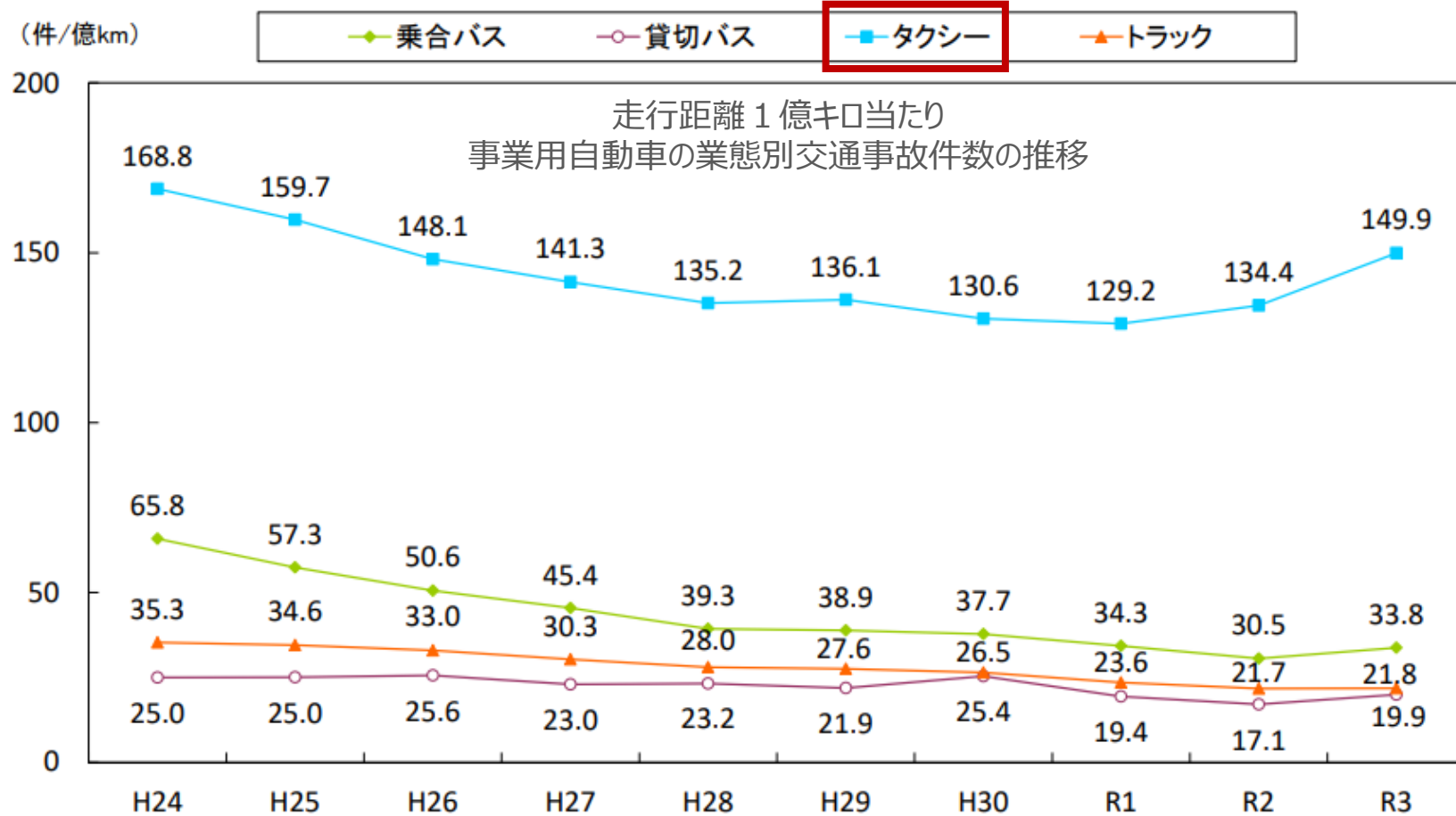


第二当事者別に交通事故率を分析し
第二当事者が自転車と歩行者のものを抽出
(平成22年、二輪車・特殊者を除く自動車が第一当事者)



事業用自動車 業態別 交通事故件数の推移

バスやトラックと比較し、走行距離 1 億キロあたりの交通事故件数は
タクシーは他業態よりも圧倒的に多い



出典：警察庁「交通統計」
(公財)交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
国土交通省「自動車輸送統計調査」

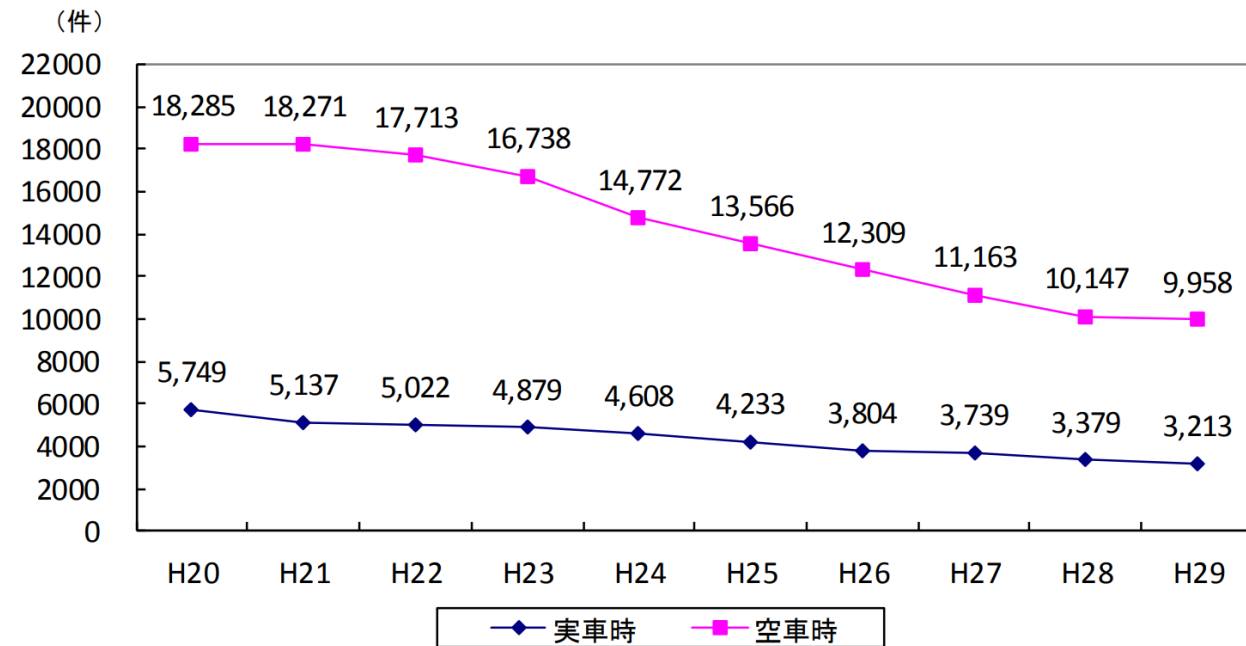
タクシー事故 空車時と実車時の比較

タクシーの事故件数（空車時、実車時）は、**空車時が実車時と比べて多く発生**

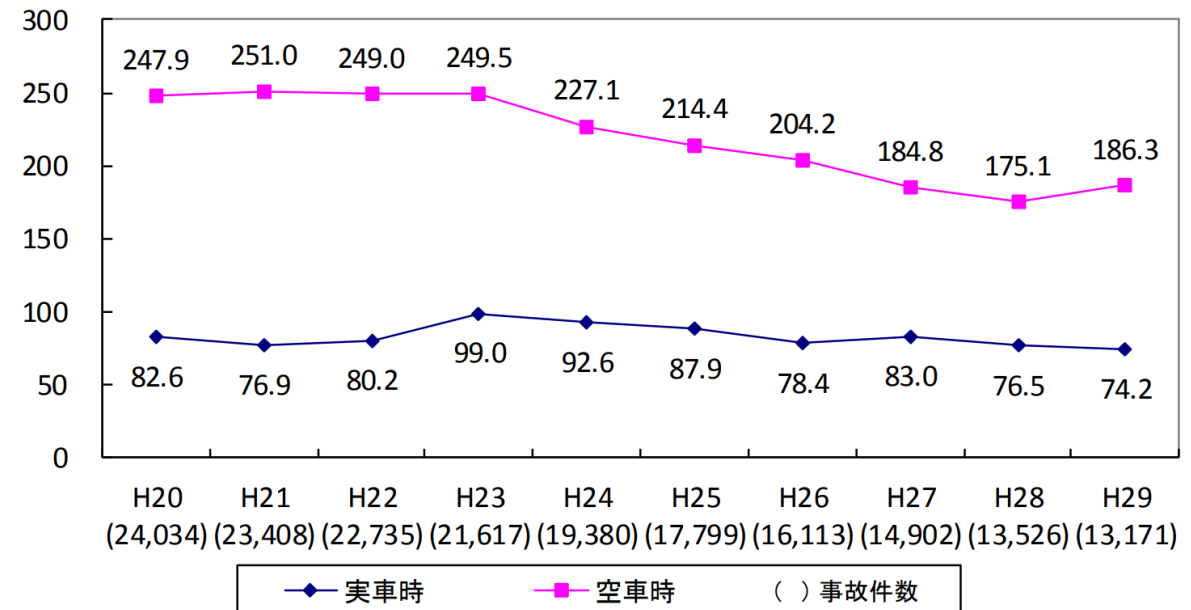
タクシーの走行距離1億キロあたりの事故件数（空車キロ、実車キロ）は、**空車時が実車時と比べて2.5倍**

タクシーの事故件数（空車時、実車時）

タクシーの走行距離1億キロあたりの事故件数



(空車時事故件数/億km)
(実車時事故件数/億km)



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

注1：（ ）内の数字は空車時と実車時を合わせた事故件数，単位是件

出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」
国土交通省「自動車輸送統計調査」「自動車燃料消費量調査」

業態別 危険認知速度別の交通事故

10km/h以下での事故が最も多く、

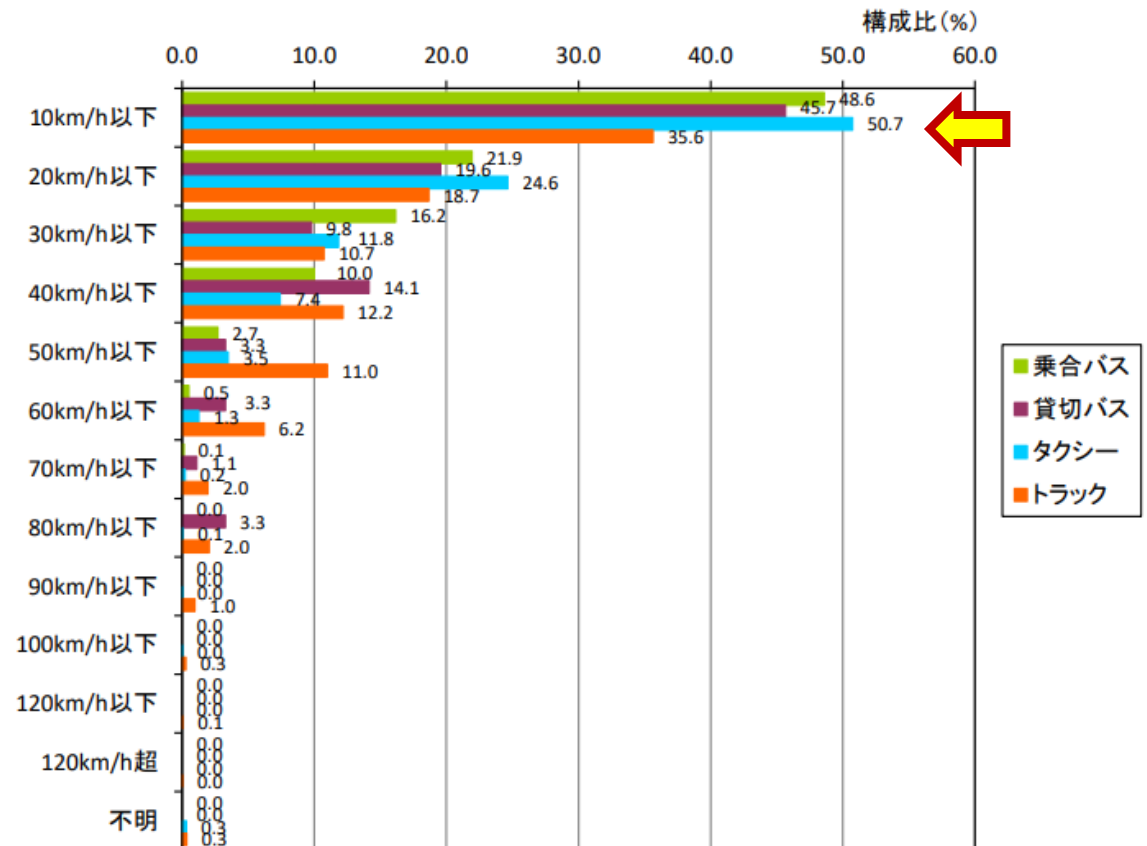
バスとタクシーにおいては全件数のうち約半数が10km/h時に発生

令和3年 業態別危険認知速度別交通事故件数 (件)

区分 速度	交通事故件数						
	バス	乗合	貸切	その他	タクシー	トラック	合計
10km/h以下	424	379	42	3	3,613	4,999	9,036
20km/h以下	189	171	18	0	1,754	2,619	4,562
30km/h以下	135	126	9	0	842	1,506	2,483
40km/h以下	91	78	13	0	528	1,706	2,325
50km/h以下	24	21	3	0	248	1,541	1,813
60km/h以下	7	4	3	0	90	871	968
70km/h以下	2	1	1	0	16	274	292
80km/h以下	3	0	3	0	5	284	292
90km/h以下	0	0	0	0	1	136	137
100km/h以下	0	0	0	0	2	37	39
120km/h以下	0	0	0	0	0	8	8
120km/h超	0	0	0	0	0	1	1
不明	0	0	0	0	22	49	71
合計	875	780	92	3	7,121	14,031	22,027

出典：(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

令和3年 業態別危険認知速度別交通事故件数の構成比 (%)

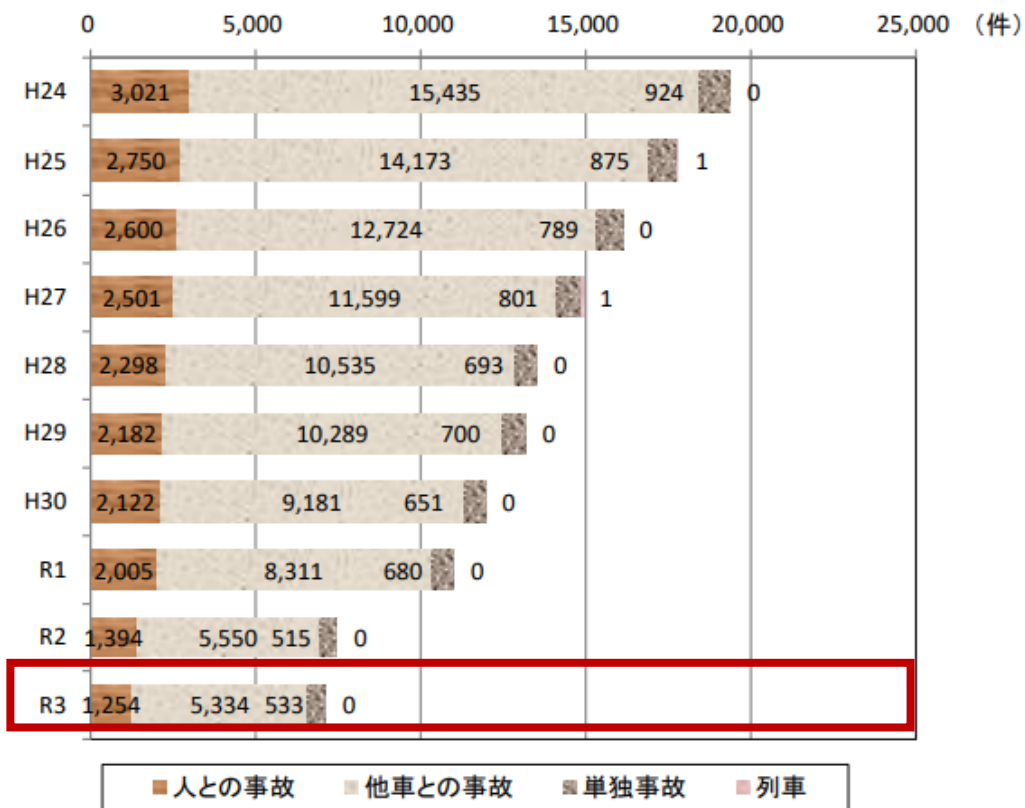


出典：(公財) 交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

タクシーの事故類型別 交通事故件数の推移

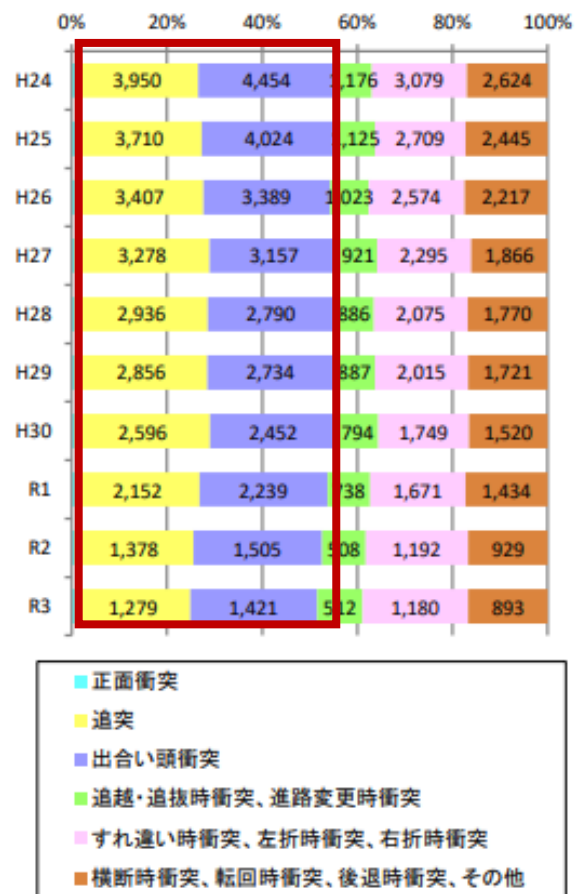
直近（令和3年）では「他車との事故」が5,334件と最多、約75%を占める
 このうち「出会い頭衝突」が最も多く、次いで「追突」となっている

タクシーの事故類型別交通事故件数の推移



出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

他車との事故：タクシーの事故類型別交通事故件数の内訳の推移

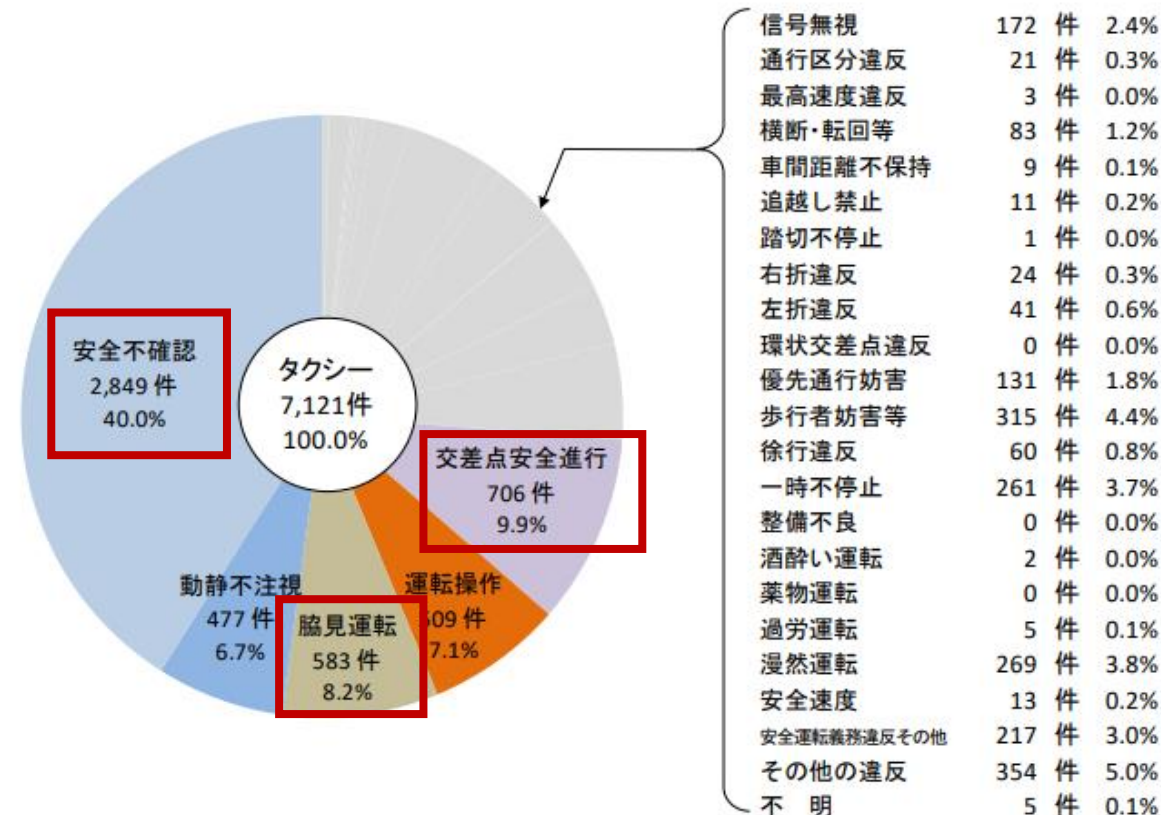


タクシーの法令違反別 交通事故件数の割合

圧倒的に「安全不確認」2,849件（約40%）が多い

「交差点安全進行」706件（約10%）、「脇見運転」583件（約8%）

令和3年 タクシーの法令違反別事故件数の割合



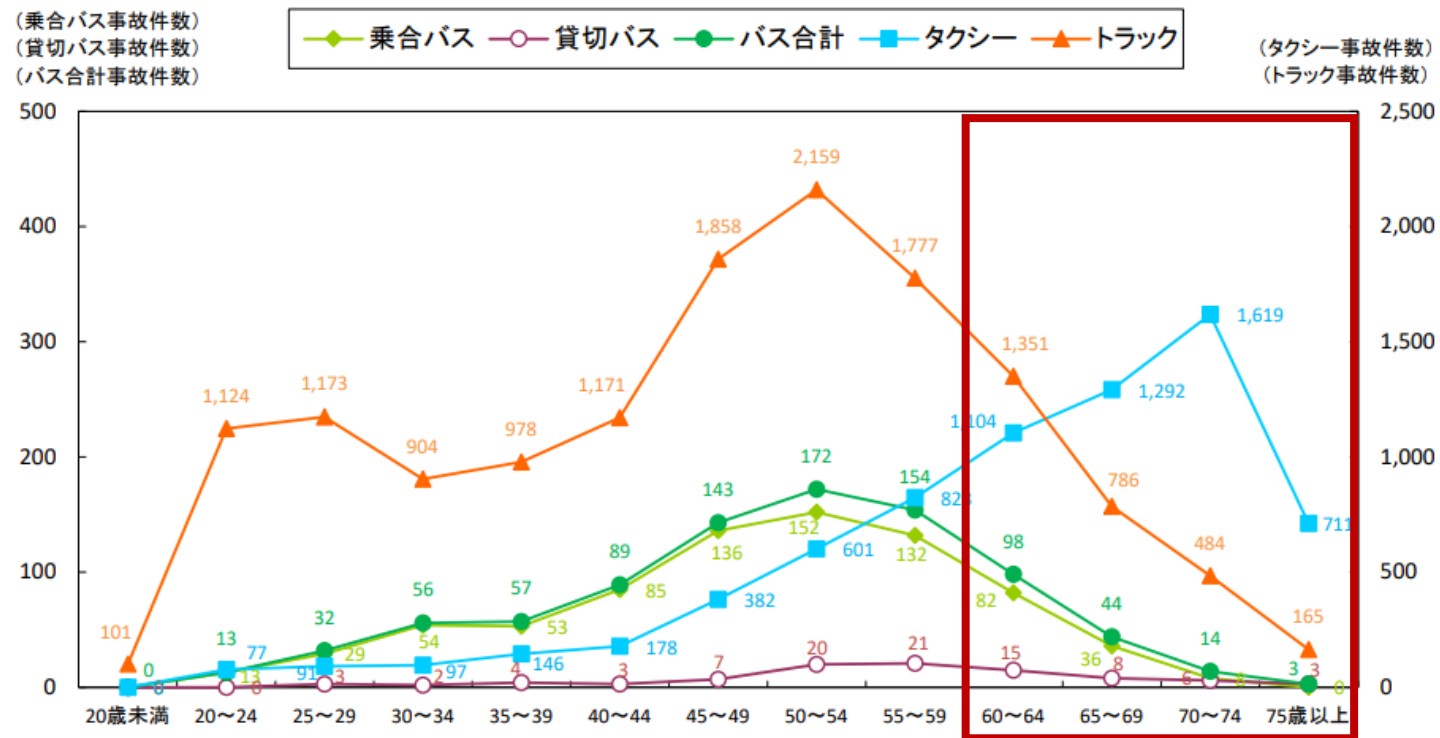
出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

業態別 運転者年齢層別の交通事故

業態別の交通事故第1当事者の年齢分布において

タクシーは60歳以上の事故割合が圧倒的に大きい

令和3年 業態別運転者年齢層別交通事故件数

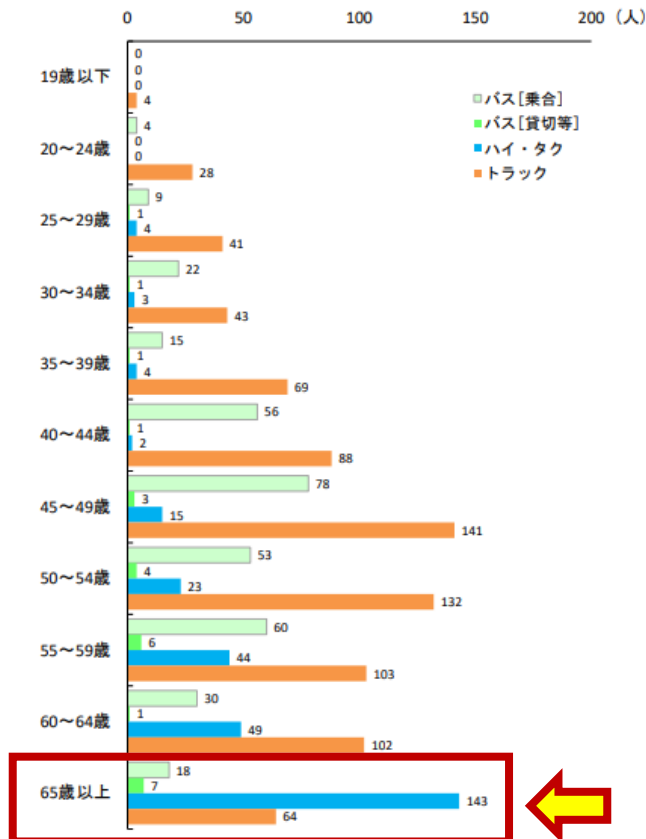


出典：（公財）交通事故総合分析センター「事業用自動車の交通事故統計」

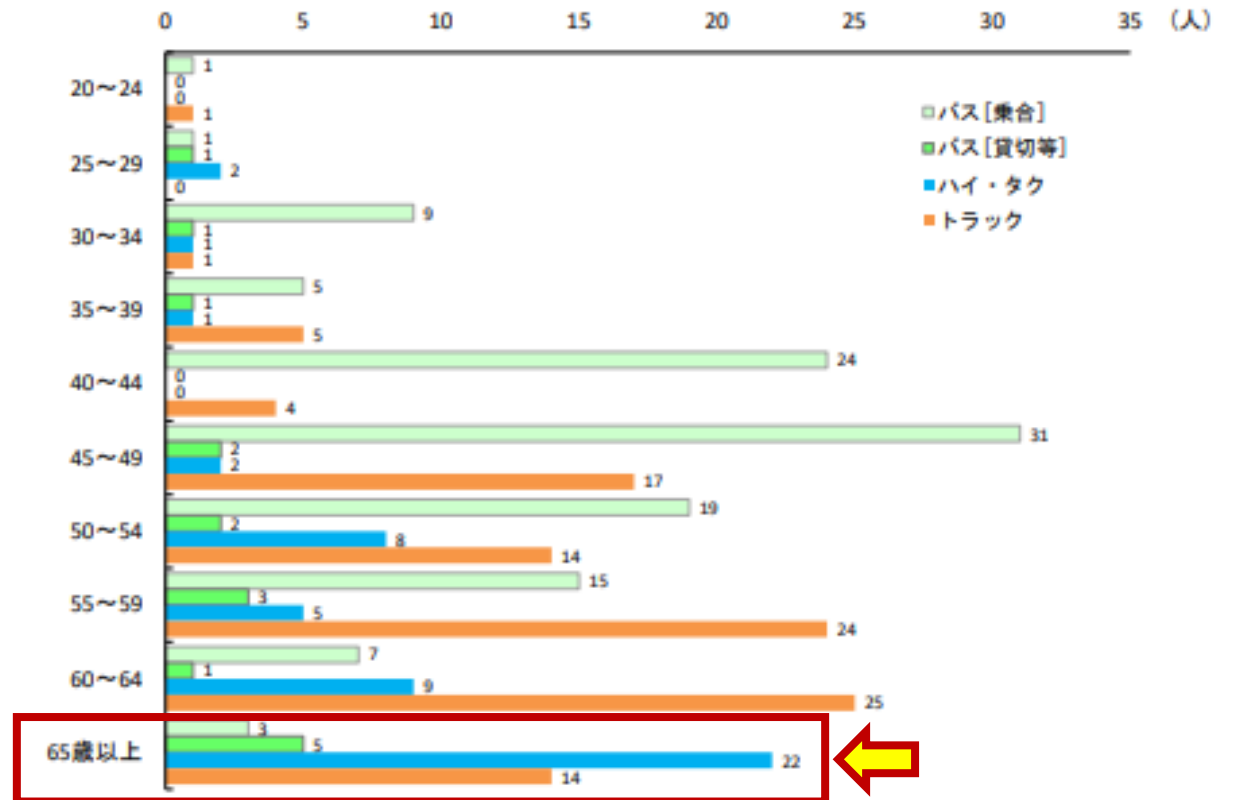
タクシー事故と運転手の年齢の関係

ハイヤー・タクシーにおいて、重大事故を起こした運転手は **65歳以上が圧倒的に多く、健康起因の事故も圧倒的に多い**

重大事故を発生させた運転者の年齢分布



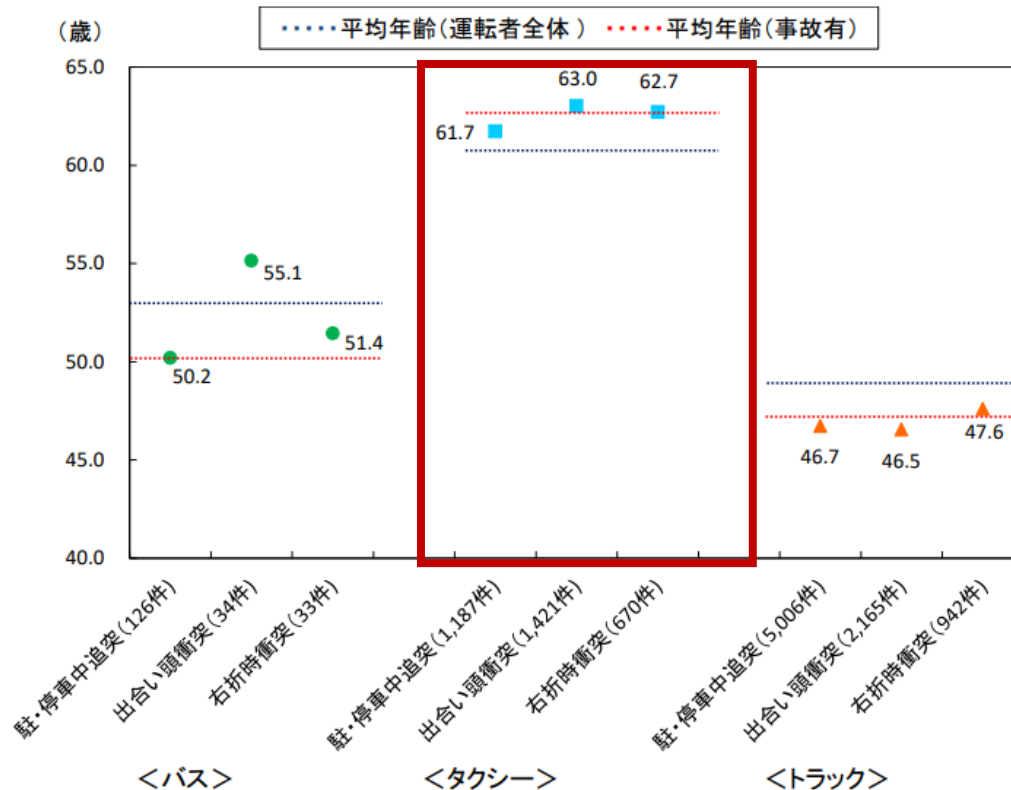
健康状態に起因する重大事故を発生させた運転者の年齢分布



業態別 事故類型別 事故第 1 当事者平均年齢

タクシーは事故類型を問わず、事故第 1 当事者運転手の**平均年齢が高い**
 (タクシーはバス・トラックと比較し、運転者全体の平均年齢自体も高い)

令和 3 年 業態別 事故類型別事故第 1 当事者の運転者平均年齢
 (車両との事故)



事故第 1 当事者の運転者の平均年齢

業態	バス	タクシー	トラック
平均年齢 (運転者全体)	53.0	60.7	48.7
平均年齢 (事故あり)	50.2	62.7	47.4